

令和2年度児童発達支援自己評価結果(事業所)

公表：令和3年 2月 8日

| チェック項目              |  | はい | いいえ | 工夫している点<br>課題や改善すべき点を踏まえた改善内容や改善目標  |
|---------------------|--|----|-----|---|
| 環境<br>や<br>体制<br>整備 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。  | ○  |     | ・今年はコロナの影響で活動、食事が分かれているのでスペースは適切であると考えている。<br>・感染症対策のため、以前より一部屋に入る人数が少なくなるよう工夫しているが、活動によってはソーシャルディスタンスが保たれていないこともある。                    |
|                     | 職員の配置数は適切であるか。   | ○  |     | ・職員の配置数は適切であるが、休みが重なると人手不足に思うことがあるため、人員配置や職員の動きを工夫していく必要がある。  |
|                     | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。            | ○  |     |   |
|                     | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。  | ○  |     | ・新型コロナ感染症対策として、例年以上に清掃や衛生に神経を遣っているが、掃除する内容が増えたことに伴い、職員の負担も増加していると感じている。また、日々清潔になるように気を付けているが、気づいていない汚れやホコリが付いている場所があるため、その都度、清掃する必要がある。 |
| 業務<br>改善            | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。  | ○  |     | ・今年から全職員への目標管理を開始した。  |
|                     | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。                              | ○  |     | ・当事業所がどういう場所であるか、今一度、職員全員が再確認をし、保護者等向け評価はしっかりと受け止めて、対応していきたい。   |
|                     | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | ○  |     |   |
|                     | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |    | ○   | ・令和3年度に実施予定   |
|                     | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。  | ○  |     | ・今年はコロナ禍で十分ではなかったがオンライン等を活用し研修の機会を確保していきたい。   |

|          |  |   |  |
|----------|--|---|--|
| 適切な支援の提供 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。   | ○ |  |
|          | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。   | ○ | ・アセスメントツールはあるが状況の図り方に差があるように感じることがあるため、統一させていく必要がある。   |
|          | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ |  |
|          | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。  | ○ | ・児童発達支援計画に沿った支援が行われているが、職員の支援が今以上に統一できるようにしていきたい。  |
|          | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | ○ | ・チームで立案を行うことは、臨機応変に保育の進行ができる職員を育成する機会につながるため、今後も積極的に行いたい。  |
| 適切な支援の提供 | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。  | ○ | ・保護者にマンネリととらえられないように繰り返し行う意味や大切さを一人一人の職員（担当）が伝えられるようにする必要がある。<br>・年間を通じて少しずつレベルアップしていけるよう意識している。 |
|          | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適時組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。   | ○ | ・個別活動をもっと充実させていきたい。  |
|          | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。  | ○ | ・前日の終礼や当日の朝礼で打ち合わせは行うようにしている。  |
|          | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。  | ○ | ・保育の進行者が中心となり、振り返りを行うようにしている。  |
|          | 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | ○ |  |
|          | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。  | ○ |  |

|              |   |   |   |   |
|--------------|---|---|---|---|
|              | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。                               | ○ |   |   |
|              | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。   | ○ |   |   |
|              | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。 | / | / | ・該当する利用はない。   |
|              | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。             | / | / | ・該当する利用はない。   |
| 関係機関や保護者との連携 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                   | ○ |   | ・卒園前に保護者にサポートブックを作成してもらい、移行先に情報提供している。必要に応じて訪問等を行っている。<br>・来年度はアフターとして、卒園児全員の移行先に訪問できるようにしたい。 |
|              | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                               | ○ |   | ・必要に応じて行われている。<br>・卒園前に保護者にサポートブックを作成してもらい、移行先に情報提供している。必要に応じて訪問等を行っている。                      |
|              | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。                        | ○ |   |   |
|              | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。   | ○ |   | ・今年度はコロナの影響でできていない。<br>・保護者からの要望は毎年出ているので、今後、交流の場を検討していく必要がある。                                |
|              | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。   | ○ |   |   |
|              | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                  | ○ |   | ・持っているが、まだ不十分なこともある。  |
|              | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。                      | ○ |   | ・ペアレントトレーニングの専門職はいないが、保護者向けの研修は行われている。  |

|                                      |  |     |                              |  |
|--------------------------------------|--|-----|------------------------------|--|
| 保護者への説明責任等                           | 重要事項説明書をもとに運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。  | ○   |                              |  |
|                                      | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○   |                              |  |
|                                      | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。  | ○   |                              | ・必要な助言や支援が行えるよう努めているが不十分な面もあるため、より専門性を高める確で具体的な支援ができるよう職員の研修の機会を充実させていきたい。 |
|                                      | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。   | ○   |                              | ・今年度はできていないが例年を行っている。<br>・コロナ禍で例年の歓迎会、忘年会ができず、そういう場もなく通園していただいた保護者に感謝している。 |
|                                      | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                         | ○   |                              |  |
|                                      | 定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。   | ○   |                              |  |
|                                      | 個人情報の取扱いに十分注意しているか。  | ○   |                              |  |
|                                      | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | ○   |                              | ・翻訳機やアプリなどを活用している。   |
| 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○  |     | ・福祉まつりや移動動物園などコロナの影響でできていない。 |  |
| 非常時等の対応                              | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。                                  | ○   |                              |  |
|                                      | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。  | ○   |                              |  |
|                                      | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | ○   |                              |  |
|                                      | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | ○   |                              | ・保護者を通じて医師の見解を聞いている。   |
|                                      | アクシデント・インシデント事例集を作成して事業所内で共有しているか。   | ○   |                              | ・昨年度より内容を職員間で共有、周知ができていると考えている。  |
|                                      | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | ○   |                              | ・虐待についての研修には、今以上に機会を設けていきたい。   |
|                                      | どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。                          | ○   |                              |  |
| チェック項目                               | はい   | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など          |  |